

第5回「新しい工業高校の整備候補地選定委員会」の開催について

京都市立洛陽工業高校と伏見工業高校を統合・再編する「新しい工業高校」の整備候補地について、多角的な観点から比較検討する「新しい工業高校の整備候補地選定委員会」の第5回会議を下記のとおり開催します。

記

- 1 日 時 平成25年11月29日(金)午後12時30分から(1時間半程度)
- 2 場 所 京都市総合教育センター 地下1階 第3研修室(下京区河原町通仏光寺西入)
- 3 主な内容(予定) ・「まとめ(案)」の策定について ・意見交換

【開催経過の概要】

第1回(会議):平成25年5月24日実施(伏見工業高校)
京都市立工業高校の再編に関する基本方針,整備候補地に係る施設状況等の説明
第2回(視察):平成25年7月6日実施
候補地の一つである立命館中学校・高校の視察
第3回(会議):平成25年9月24日実施
3候補地における諸条件等の比較検討
第4回(会議):平成25年11月6日実施
3候補地における諸条件等の比較検討,立命館中学校・高校周辺の土地状況・同校の取得見込額(非公開)の説明
開催経過の詳細については以下をご参照ください。
(<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000149788.html>)

- 4 傍 聴
傍聴席を10席程度設置(報道関係者席は別途設置)。傍聴希望者は,会議の開始30分前から5分前までの間に,会場受付へ来場。多数の場合は抽選を行います。

<参考>

- 1 「新しい工業高校の整備候補地選定委員会」における検討内容
 - (1) 洛陽工業高校及び伏見工業高校の現敷地について,敷地面積の広狭,交通の利便性,埋蔵文化財の包蔵状況,所要経費等を比較・検討する。
 - (2) 洛陽工業高校及び伏見工業高校の現敷地での整備については,大規模な工事に伴う長期にわたる教育活動への影響及び仮設校舎設置に伴うグラウンド利用制限等が見込まれるため,本市が利活用に関する照会を受けている立命館中学・高等学校(京都市伏見区深草西出山町)について,地理的条件や施設状況,教育環境,工業高校として求められる実習室への改修の適否等を調査のうえ,候補地としての活用の可否を検討する。

- 2 構成メンバー (敬省略 五十音順に記載)

氏 名	役 職 等
岡野 哲也	都市計画局公共建築部長
尾河 清二	洛陽京工会副会頭
信部 尚平	京都市立伏見工業高校同窓会会長
名高 新悟	京都機械金属中小企業青年連絡会元代表幹事
福本 早苗	武庫川女子大学生活環境学部建築学科教授
前野 芳子	前野公認会計士事務所所長 公認会計士・税理士
松重 和美	四国大学学長・京都大学名誉教授
村上 英明	京都市立高等学校長会会長
室 保次	京都市立中学校長会進路指導部会長

・上記以外に,洛陽・伏見工業の両校長もオブザーバーとして参加。